



2025年第2四半期 業績概要

～五大陸をつなぐ世界No.1ブランドをめざして～

ホシザキ株式会社

(証券コード:6465 東証プライム・名証プレミア)

2025.8.7

HOSHIZAKI

I . 2025年第2四半期 決算概況	:P.02-14
II . 2025年第2四半期 決算のポイント	:P.15-20
III . 2025年12月期 業績予想	:P.21-23
IV . 会社概要・事業内容	:P.24-27



I. 2025年第2四半期 決算概況

為替の前提

	期中平均		期末	
	24年第2四半期	25年第2四半期	24年12月末	25年6月末
米ドル	152.3	148.4	158.1	144.8
ポンド	192.7	192.6	199.0	198.5
ユーロ	164.6	162.2	164.9	169.6
シンガポールドル	113.0	112.1	116.5	113.5
人民元	21.0	20.4	21.6	20.1
インドルピー	1.84	1.73	1.86	1.70
ブラジルリアル	29.9	25.8	25.5	26.5
ベトナムドン	0.0063	0.0059	0.0065	0.0057
フィリピンペソ	2.70	2.62	2.76	2.59
トルコリラ	4.90	3.63	4.48	3.63

2025年第2四半期 決算概要

■ 国内における堅調な設備投資需要への対応、及び海外の新規連結会社による貢献に加え、インドを中心に販売が堅調に推移したことにより、過去最高の売上高・営業利益を達成。売上高、営業利益ともに、前年及び社内計画を上回る水準で推移。

■ 売上高は2,385億円（前年同期比9.4%増）

国内:売上高 1,155億円(同4.4%増)

海外:売上高 1,230億円(同14.5%増) 海外売上高比率:51.6%(同2.3pt増)

※報告セグメント情報の「米州」「欧州」「アジア」より算出

国内: インバウンドの継続を受け高まっている設備投資需要への対応、及び飲食市場に加え、流通販売業や加工販売業など飲食外市場への拡販に注力することにより増収。

海外: 新規連結会社による業績貢献に加え、米州の製氷機事業、米州及びインドでの冷蔵庫事業が堅調に推移したことなどにより増収。

■ 営業利益は304億円（同11.2%増） 営業利益率:12.8%（同0.2pt増）

国内:営業利益 176億円(同3.6%増)

国内営業利益率 15.3%(同0.1pt減)

海外:営業利益 141億円(同19.1%増)

海外営業利益率 11.5%(同0.4pt増)

※報告セグメント情報の「米州」「欧州」「アジア」より算出

- 材料費及び人件費の増加は継続しつつも、増収効果及び固定費の厳格管理により増益を維持。
- オズティにおいてインフレ会計適用により、営業利益▲18億円の影響。

■ 経常利益は318億円（同1.2%減）

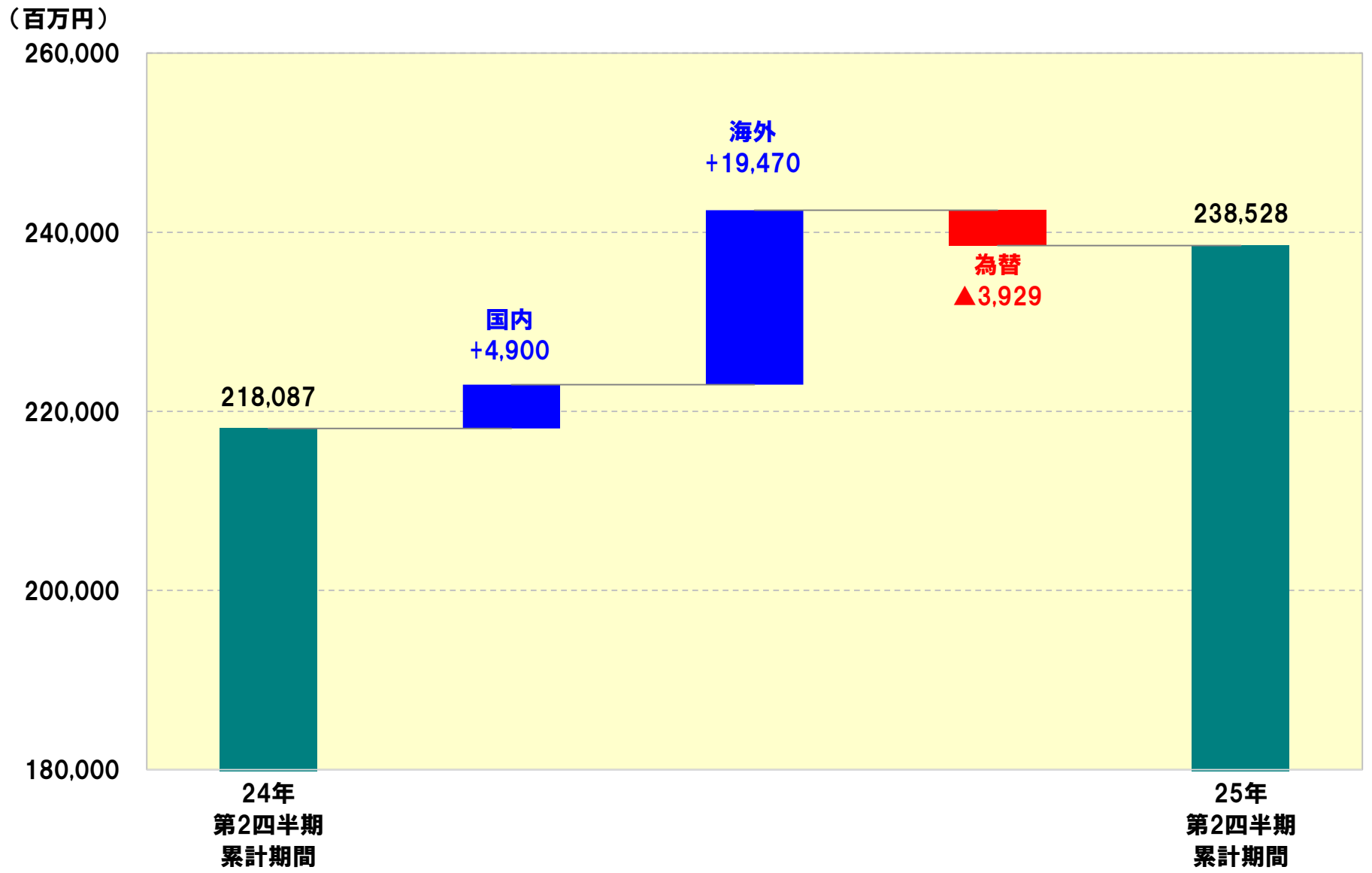
- 営業外損益に外貨預金等による為替差損8億円を計上(前期は為替差益23億円を計上)。

■ 親会社株主に帰属する中間純利益は219億円（同12.6%増）

連結損益計算書

	24年 第2四半期累計 実績		25年 第2四半期累計 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	218,087	100.0	238,528	100.0	+20,441	109.4
売上原価	134,826	61.8	147,529	61.8	+12,703	109.4
売上総利益	83,261	38.2	90,999	38.2	+7,737	109.3
販売費及び一般管理費	55,850	25.6	60,518	25.4	+4,668	108.4
営業利益	27,411	12.6	30,480	12.8	+3,069	111.2
経常利益	32,248	14.8	31,854	13.4	▲394	98.8
親会社株主に帰属する 中間純利益	19,495	8.9	21,944	9.2	+2,448	112.6

連結売上高増減要因(国内・海外)



報告セグメント別売上高の前期比較

(百万円)

280,000

210,000

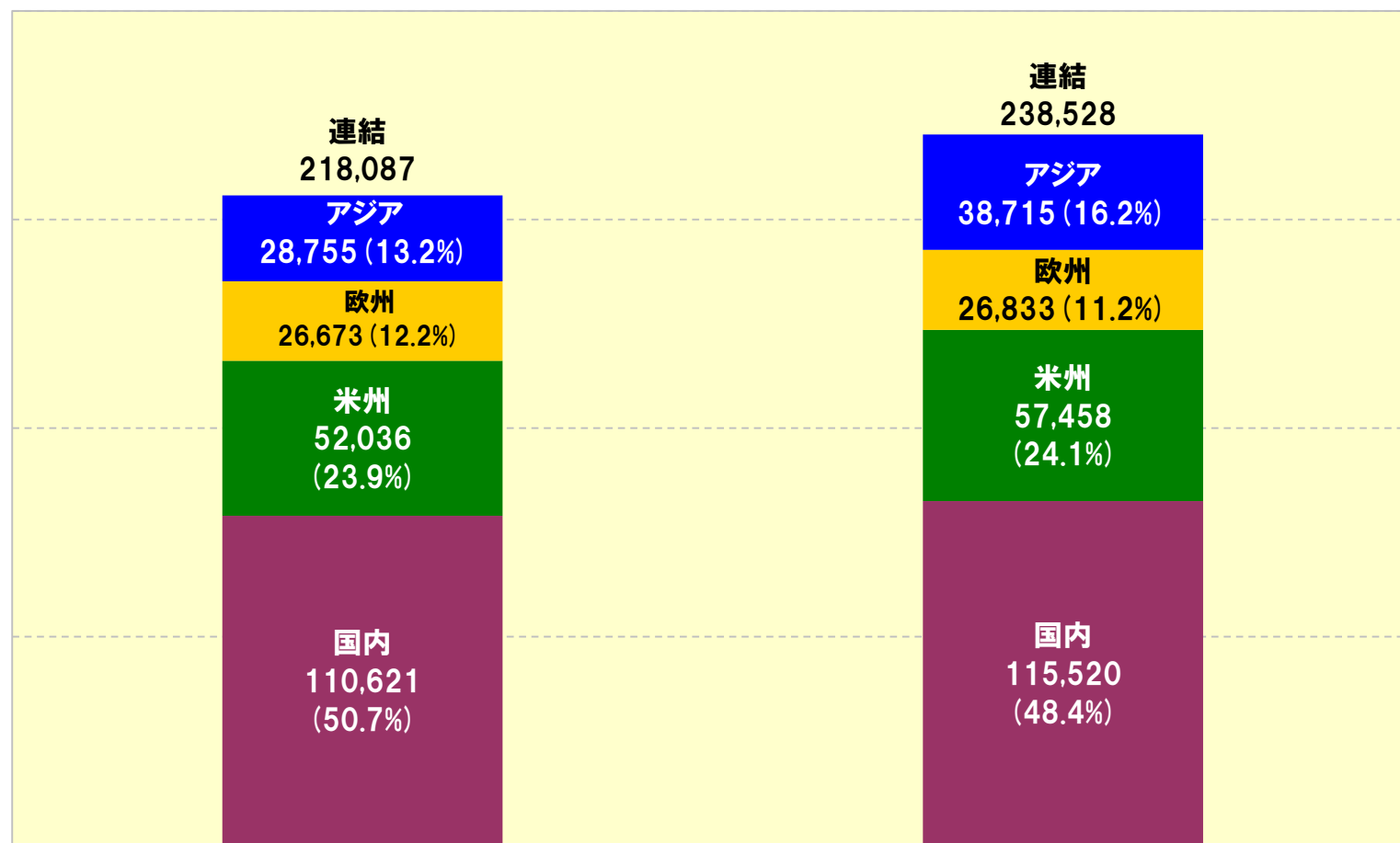
140,000

70,000

0

24年第2四半期
累計期間

25年第2四半期
累計期間



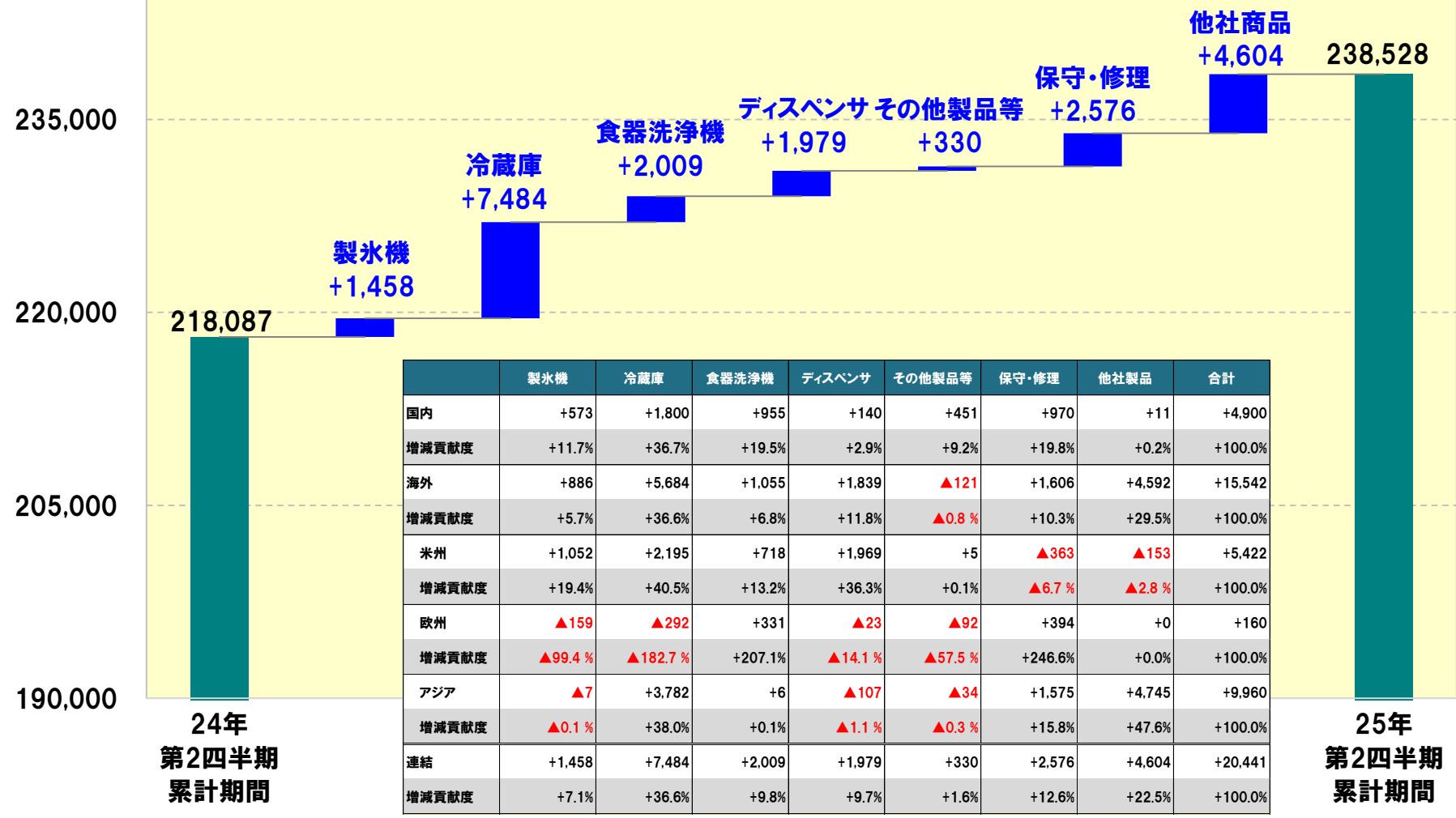
※ () 内は構成比を示す。

※ 本社所在地エリア区分(例:ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)

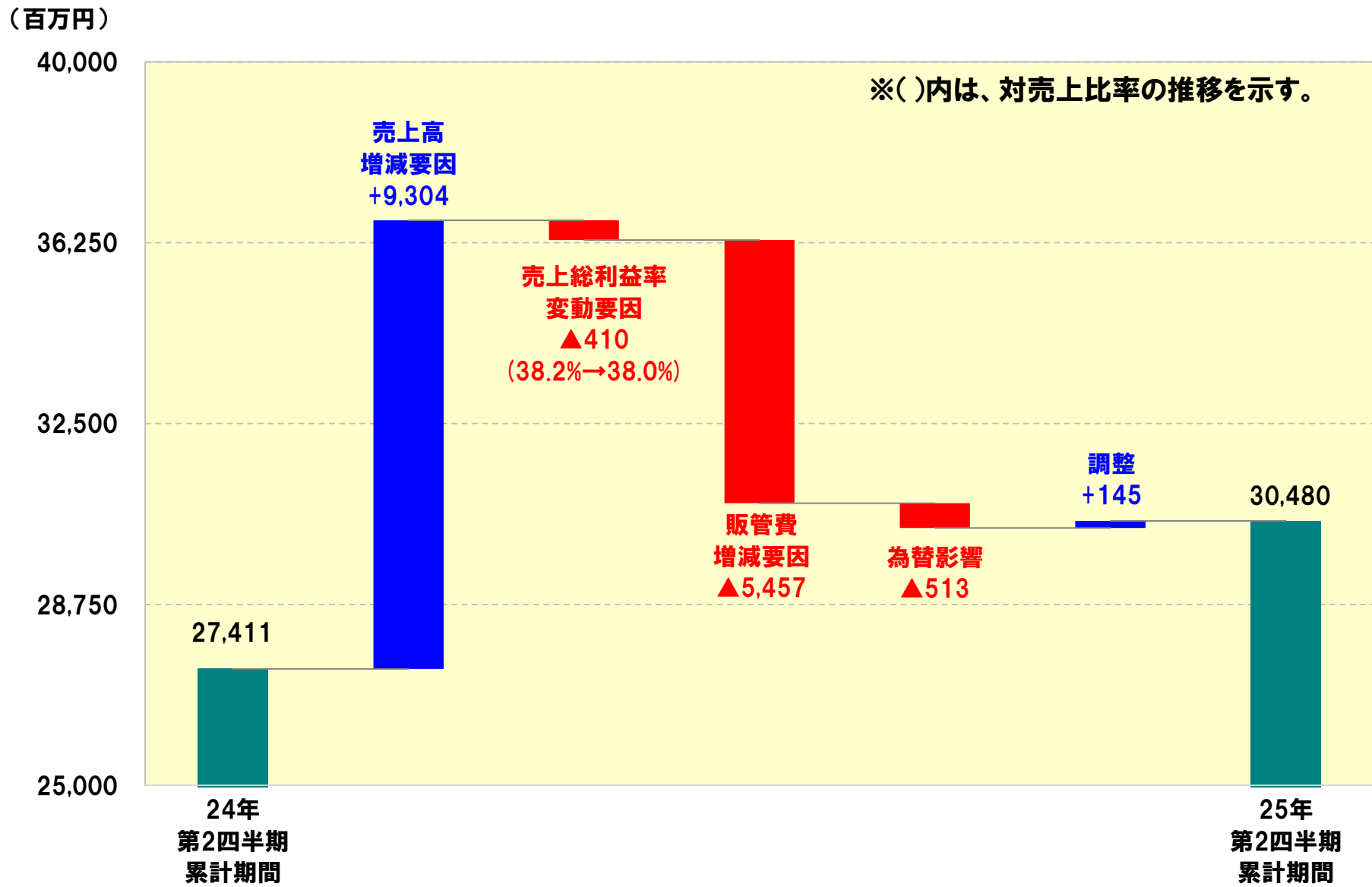


連結売上高増減要因(製品群別)

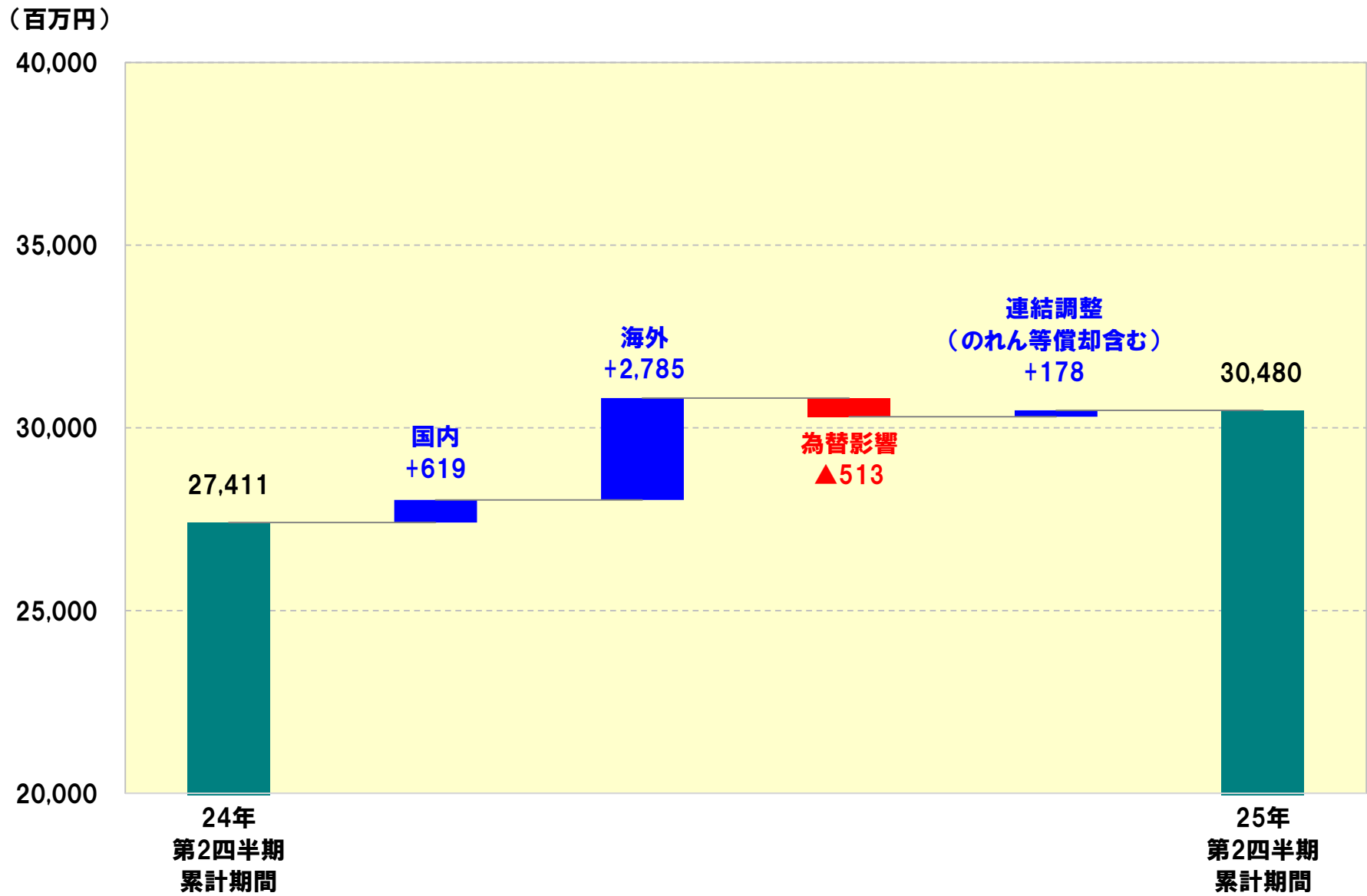
(百万円)
250,000



連結営業利益増減要因



連結営業利益増減要因(国内・海外)

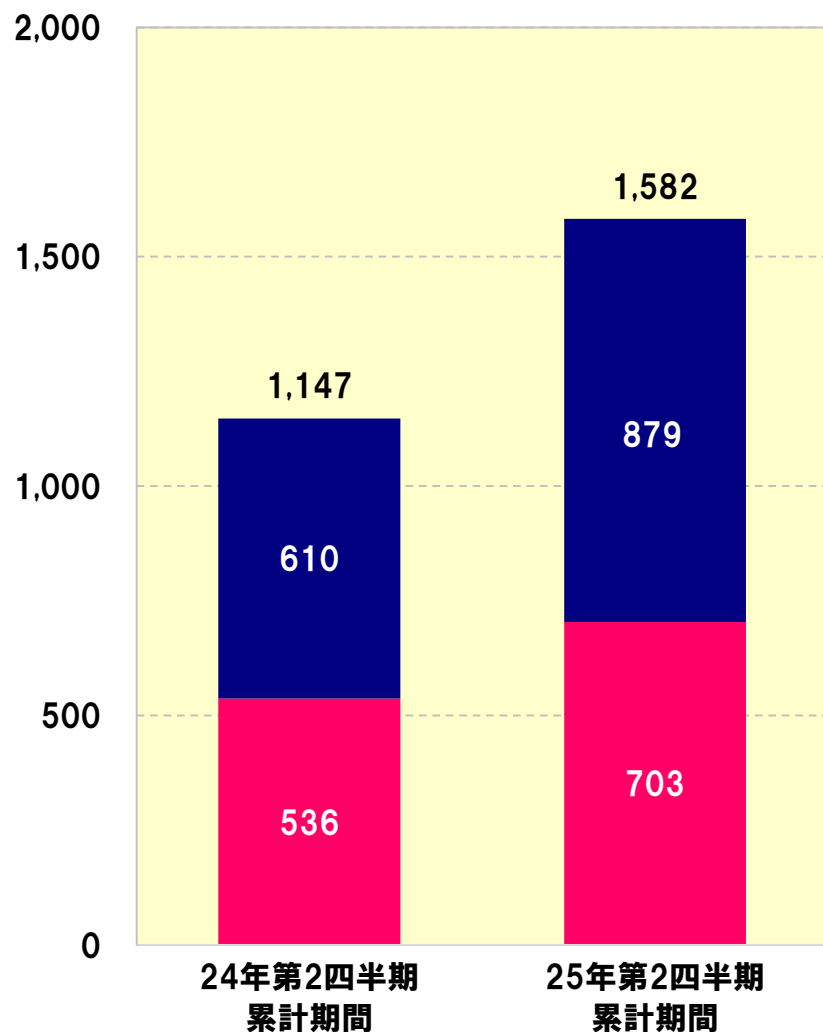


のれん等償却額の影響

■ 無形固定資産償却
■ のれん償却
■ 営業利益

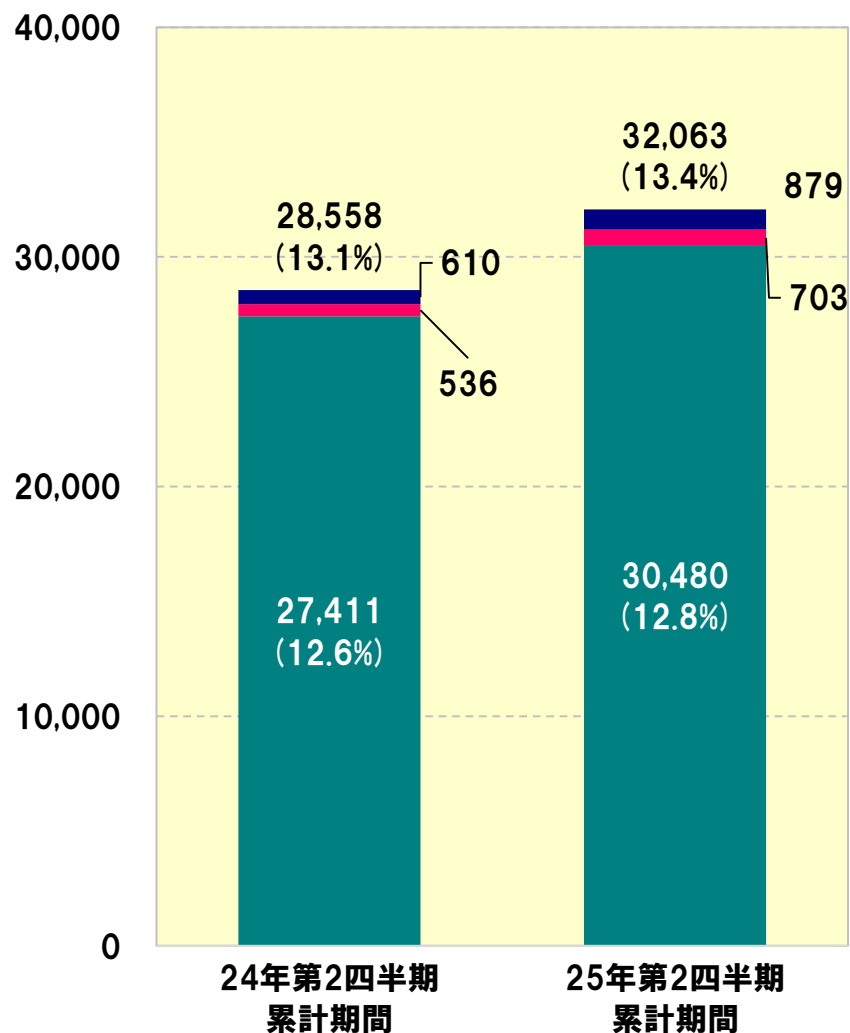
(百万円)

のれん等償却額



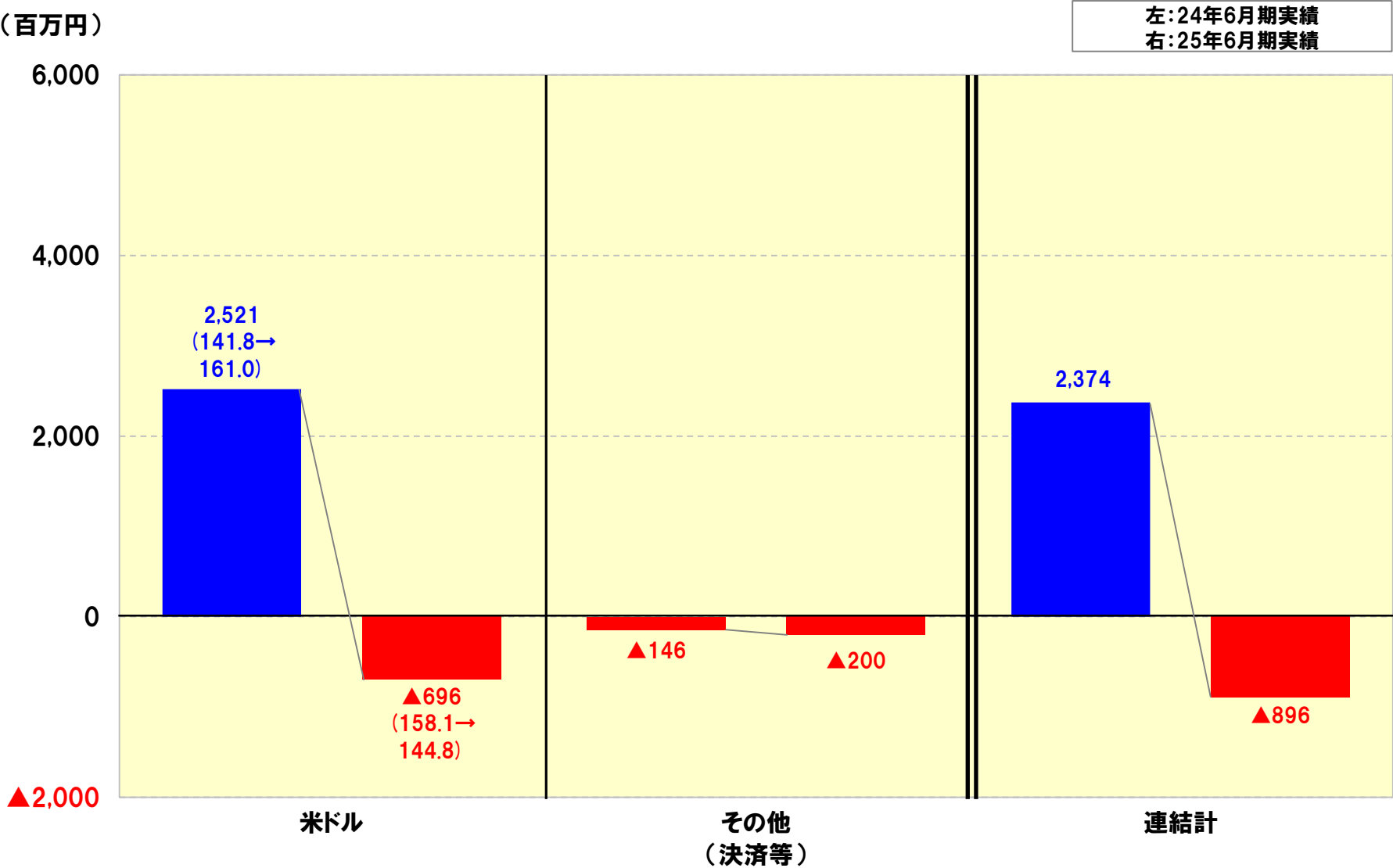
(百万円)

営業利益+のれん等償却額



※()内は、対売上比率を示す。

為替差損益内訳



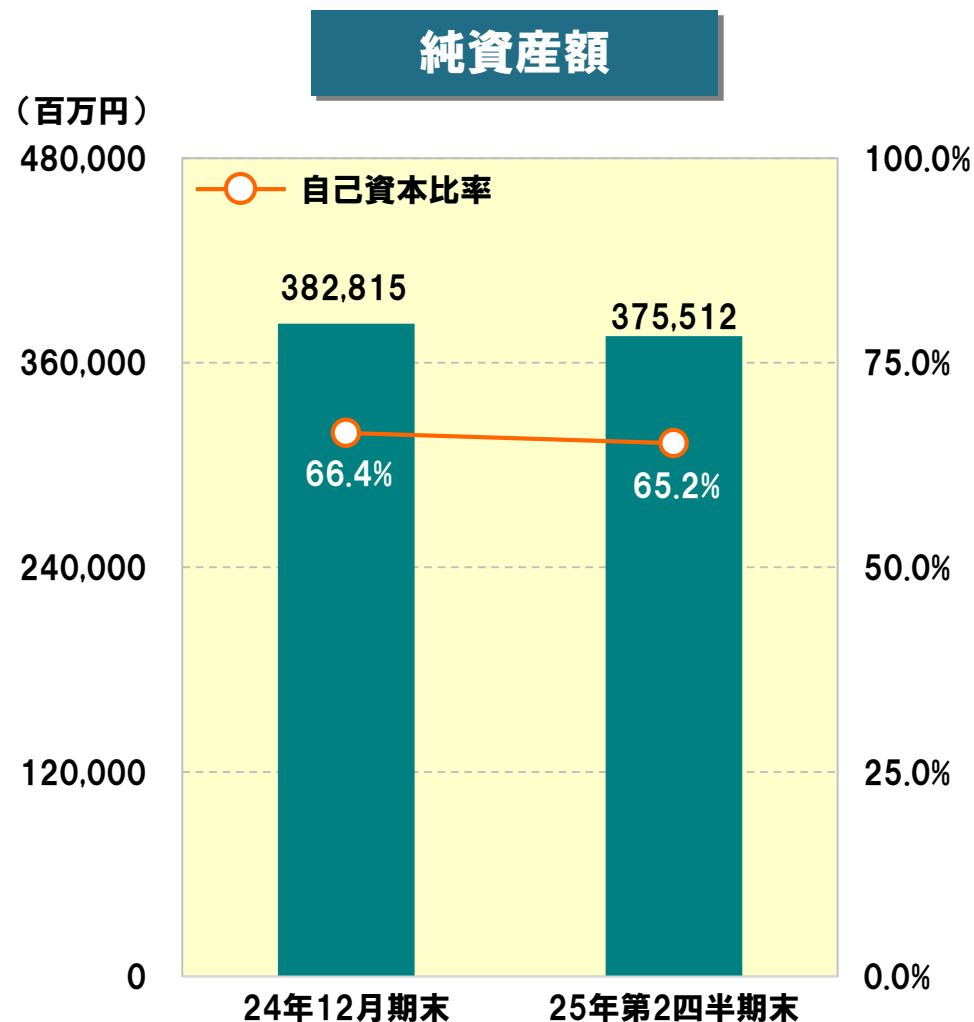
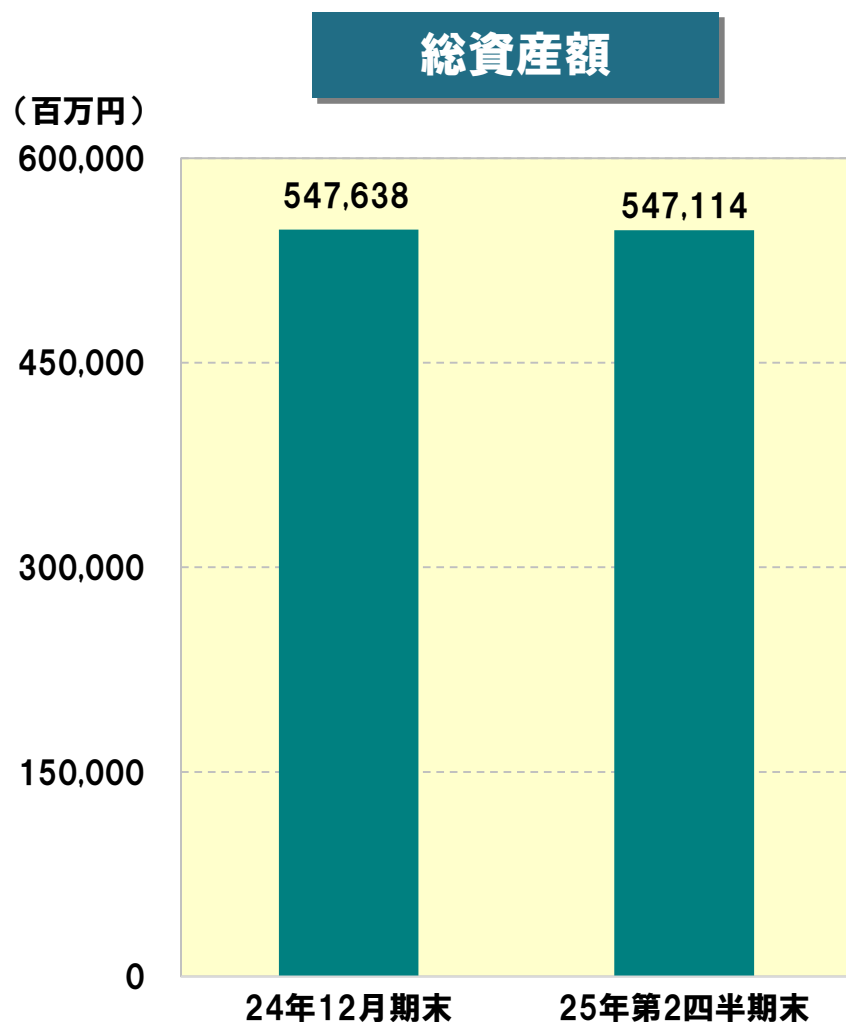
※()内は、前期末から当期末までの為替レートの変動を示す。



連結貸借対照表

		24年12月期		25年第2四半期		
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額 (百万円)
	流動資産	390,307	71.3	384,587	70.3	-5,720
	（手元流動性）	240,055	43.8	225,859	41.3	-14,195
	（売上債権）	70,253	12.8	81,911	15.0	+11,657
	（たな卸資産）	69,165	12.6	71,930	13.1	+2,765
	固定資産	157,331	28.7	162,527	29.7	+5,196
	資産合計	547,638	100.0	547,114	100.0	-524
	流動負債	129,923	23.7	141,644	25.9	+11,721
	（仕入債務）	36,252	6.6	36,307	6.6	+54
	固定負債	34,900	6.4	29,957	5.5	-4,943
	負債合計	164,823	30.1	171,602	31.4	+6,778
純資産合計		382,815	69.9	375,512	68.6	-7,302
負債・純資産合計		547,638	100.0	547,114	100.0	-524
現金及び預金		239,035		225,859		-13,175

連結総資産額・純資産額の前期末比較

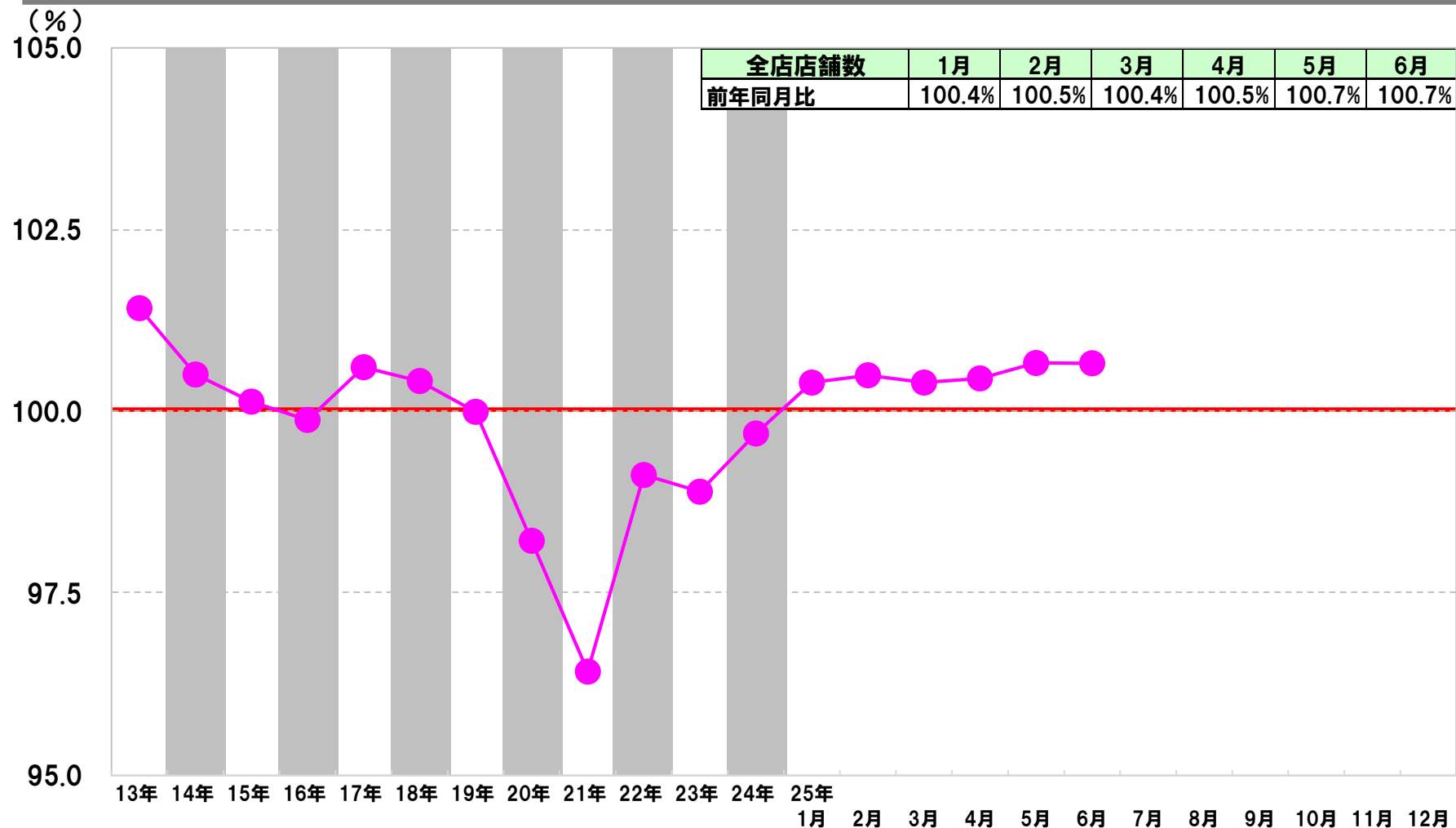




II. 2025年第2四半期 決算のポイント

国内:大手チェーン店 全店店舗数 前期比/前年同月比

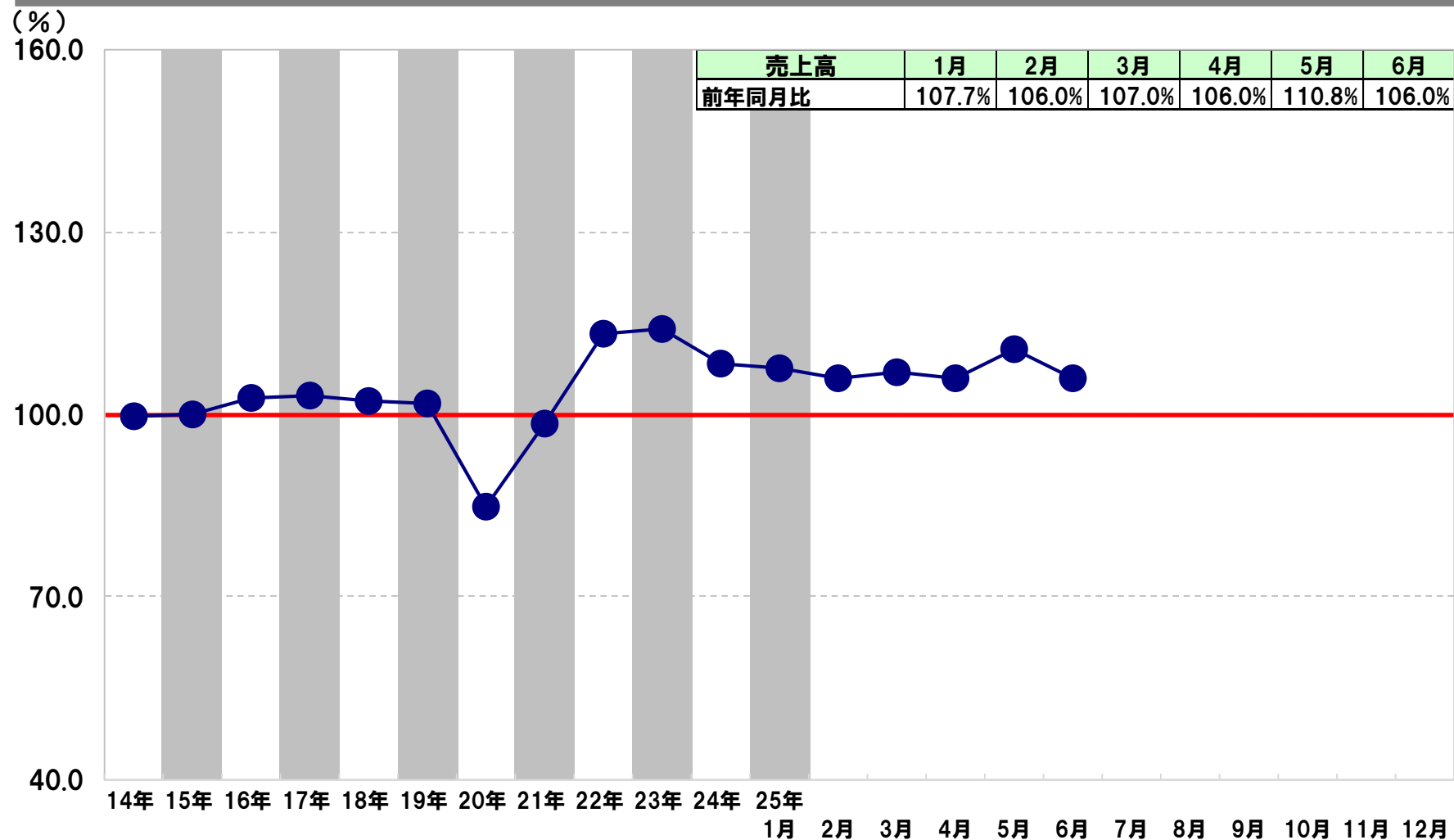
- 国内大手チェーン店における全店店舗数は、20年以降は前年同月比でマイナス基調にて推移していたが、24年11月以降は100%以上を維持している。



出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」

国内:大手チェーン店 全店売上高 前期比/前年同月比

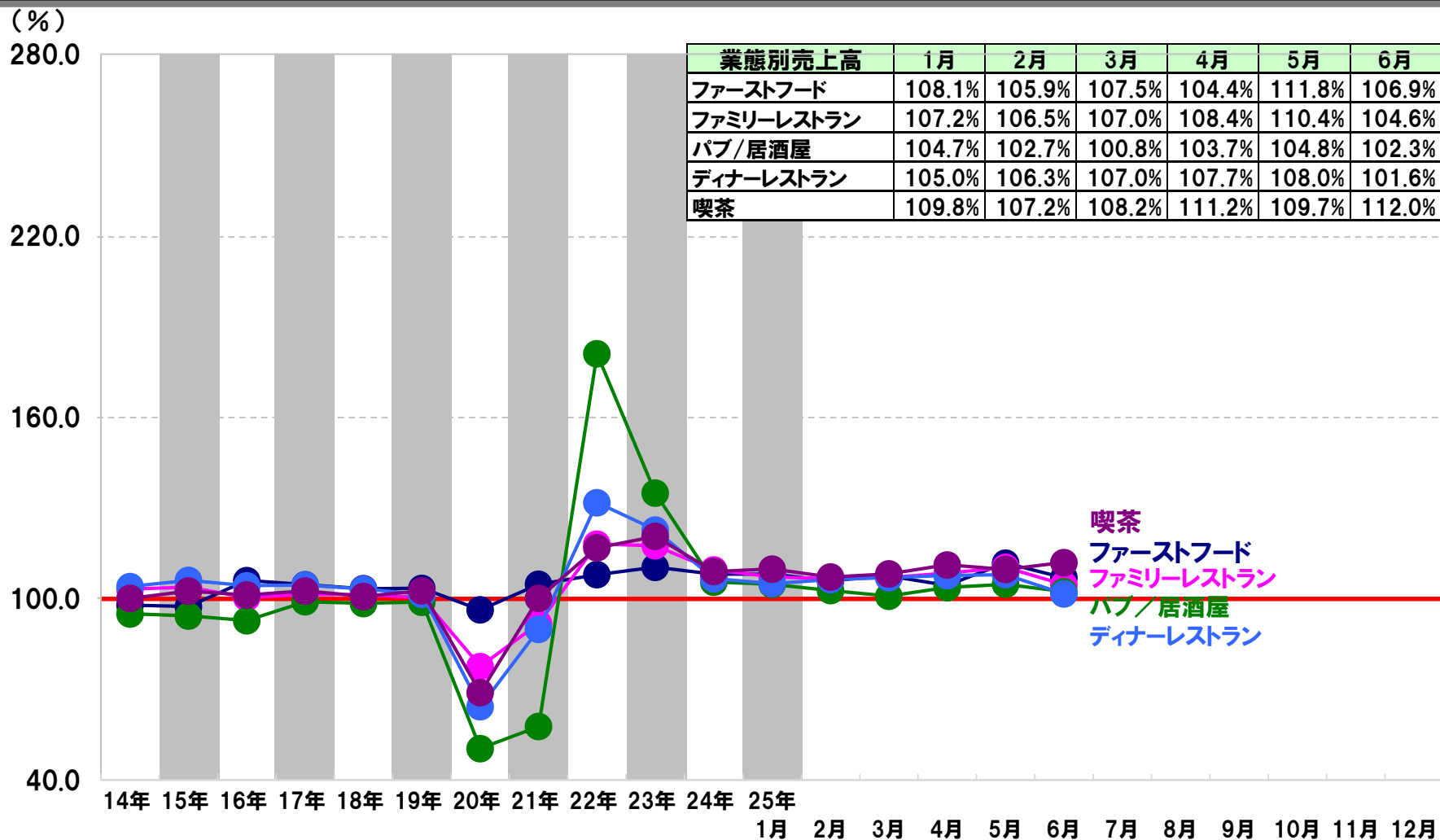
- インバウンド需要の継続もあり、外食産業の売上高は高水準で推移している。6月の全店売上高は前年同月比106%となった。



出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」

国内:大手チェーン店 業態別売上高 前期比/前年同月比

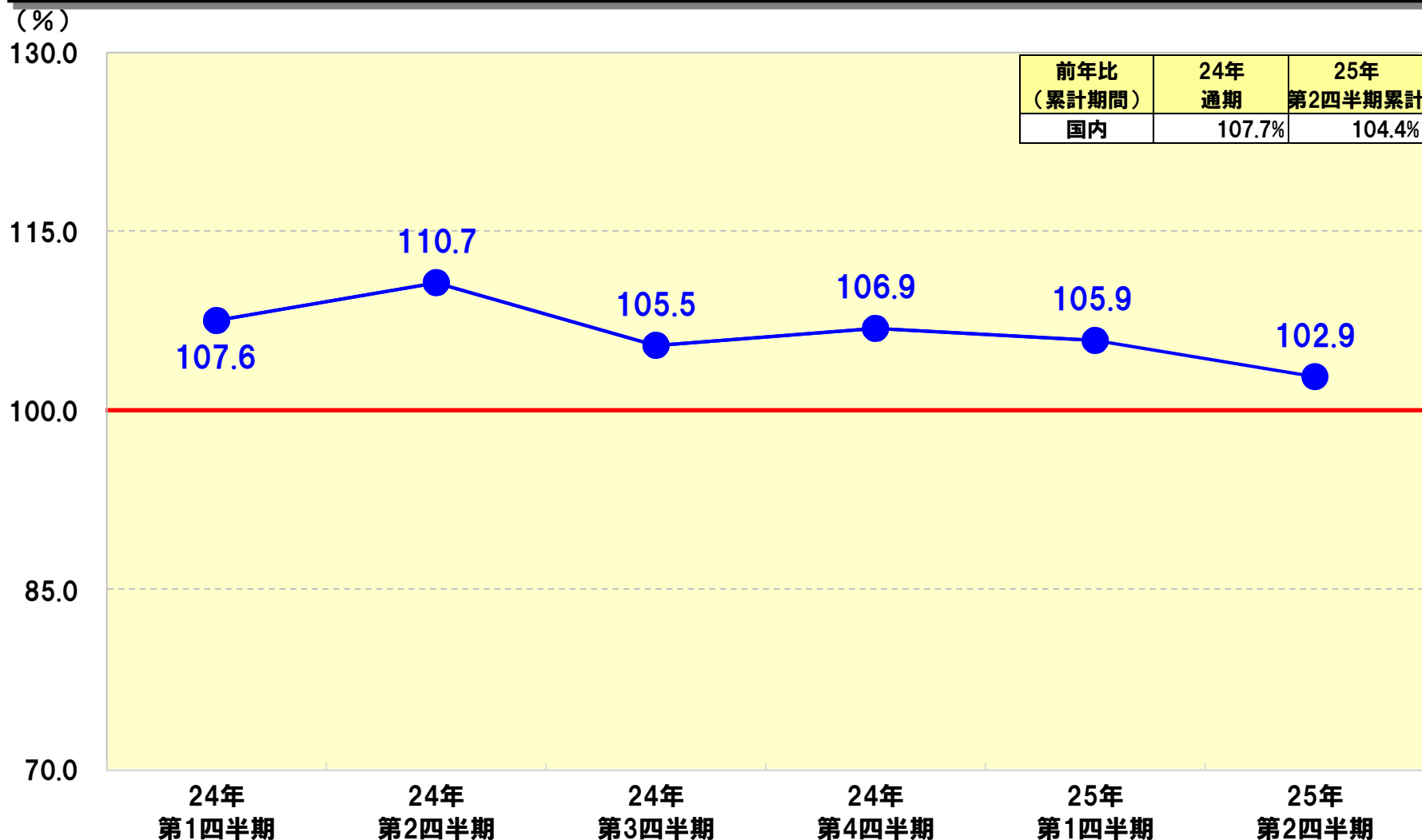
- 全ての業態において、売上高が前年同月比100%以上の伸び率で推移しているものの、パブ/居酒屋等の夜間店については伸び率が停滞している。



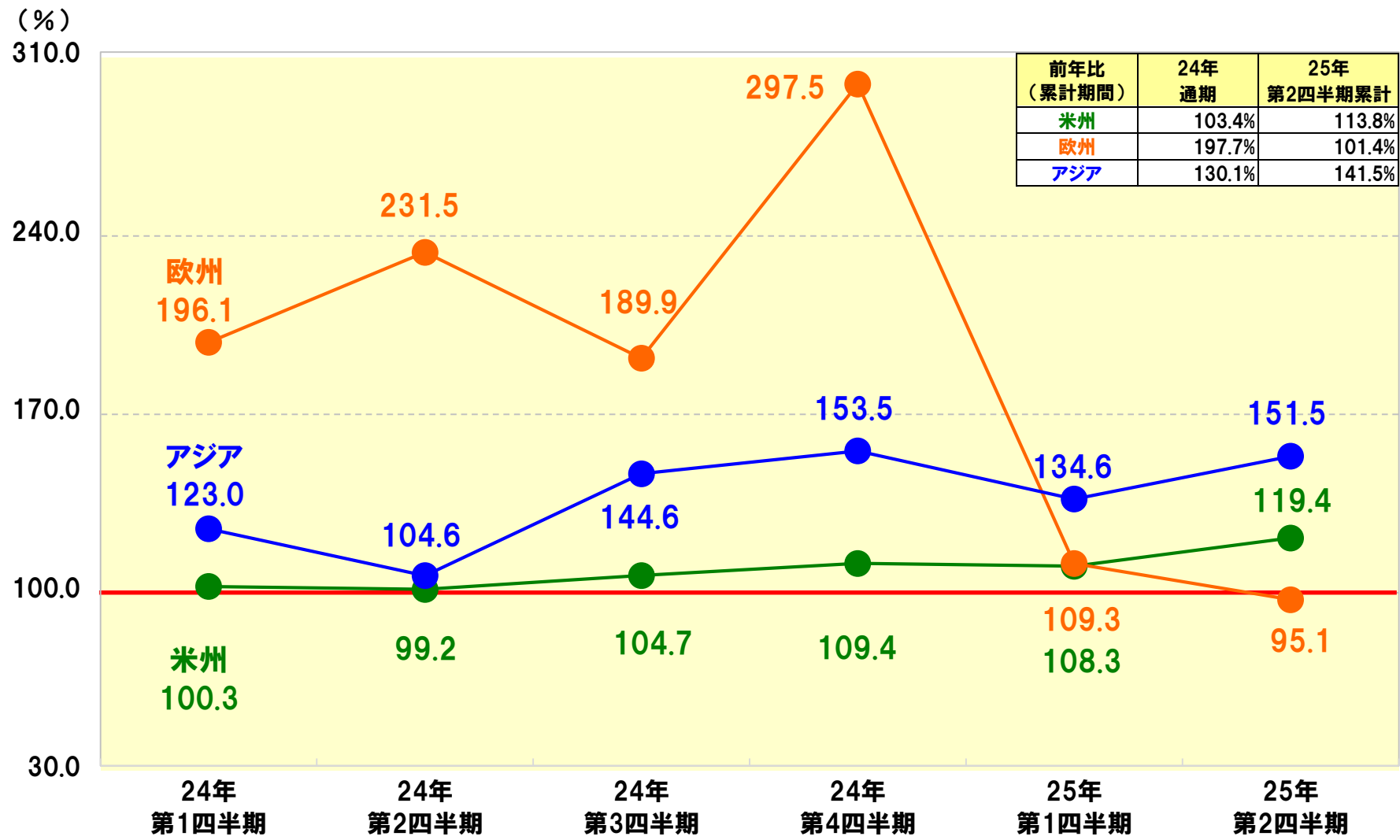
出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」

国内:売上高前年同期比推移

- インバウンドの継続を受け高まっている設備投資需要への対応、飲食市場に加え、飲食外市場への拡販に注力することにより、売上高は前年同期比102.9%の伸び率となった。



海外:エリア別[※]売上高前年同期比(外貨ベース)推移



※本社所在地エリア区分(例:ランサー欧州は米州に算入。社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一。)





Ⅲ. 2025年12月期 業績予想

2025年12月期 業績予想(2025.02.13公表)

第2四半期における通期業績予想の修正は無し

■ 売上高は4,600億円(前期比3.3%増)

- 国内：売上高 2,227億円(同2.4%増)
- 海外：売上高 2,373億円(同4.1%増)
- 海外売上高比率：51.6%(同0.2pt増)
- 国内は、世界経済停滞の影響や物価上昇、人手不足の継続等の懸念はあるものの、サービス消費やインバウンド需要は継続的な増加が見込まれる。飲食市場の深堀や飲食外市場の戦略的開拓等により、通期の売上高前期比を102.4%で想定。
- 海外は、マクロ経済による影響の懸念、競合企業との価格競争激化等により、各地域の経営環境の厳しさは増しつつあるものの、需要継続や新規連結2社の貢献を鑑み、通期売上高前期比を104.1%で想定。
- 主要な為替レート(期中平均)は、1米ドル=148円、1ユーロ=160円、1インドルピー=1.80円

■ 営業利益は535億円(同3.9%増)

- 賃上げ傾向の継続による人件コストの増加や、価格競争激化による利益率の低下は見込まれるものの、コストダウン活動を推進し増益を計画。なお、新規連結2社による貢献はのれん償却等も考慮し軽微に見込む。

■ 経常利益は559億円(同3.3%減)

- 外貨預金による為替差損益は見込まず(前期は、為替差益19億円を計上)。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益は383億円(同3.0%増)



連結業績予想概要(2025.02.13公表)

第2四半期における通期業績予想の修正は無し

	23年12月期 実績		24年12月期 実績		25年12月期 業績予想(25.2.13)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
							増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	373,563	100.0	445,495	100.0	460,000	100.0	14,505	103.3
売上原価	237,501	63.6	279,046	62.6	286,100	62.2	7,054	102.5
売上総利益	136,062	36.4	166,449	37.4	173,900	37.8	7,451	104.5
販売費及び一般管理費	92,541	24.8	114,969	25.8	120,400	26.2	5,430	104.7
営業利益	43,520	11.7	51,479	11.6	53,500	11.6	2,021	103.9
経常利益	50,322	13.5	57,823	13.0	55,900	12.2	-1,923	96.7
親会社株主に帰属する 当期期純利益	32,835	8.8	37,170	8.3	38,300	8.3	1,130	103.0





Ⅳ . 会社概要・事業内容

会社概要

- 社 名 : ホシザキ株式会社
- 本 社 : 愛知県 豊明市 栄町南館3-16
- 代 表 者 : 代表取締役社長 小林靖浩
- 設 立 : 1947年2月
- 事 業 内 容 : フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び保守サービス
- 資 本 金 : 8,138百万円(2024年12月末現在)



- 業 績
 - ・売上高 445,495百万円
 - ・営業利益 51,479百万円
 - ・当期純利益 37,170百万円

(2024年12月期連結)

(※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益)

- 連結グループ会社 : 60社(国内20社、米州17社、欧州・アジア等23社)
(2025年6月末現在、ホシザキ含む)

- 社 員 数 : 1,165名(個別)、16,509名(連結)
(2025年6月末現在)

- 国内営業所数 : 427ヶ所
(2025年6月末現在)

主要製品群と売上高構成

その他製品等



真空包装機



スチームコンベクション
オープン



ドウコンディショナー



温冷配膳車

製氷機



キューブアイス製氷機



アイスディスペンサ

冷蔵庫



タテ形冷蔵庫



テーブル形冷蔵庫

食器洗浄機



食器洗浄機



ラックコンベア式
食器洗浄機

ディスペンサ



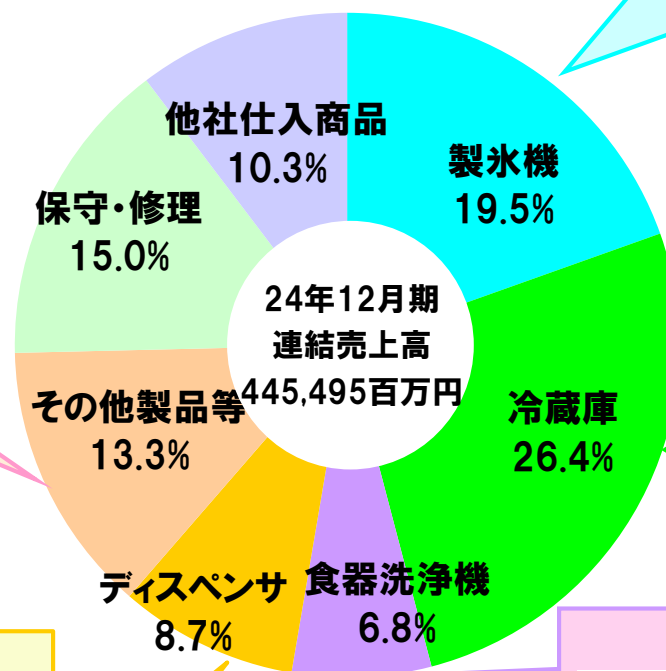
ディスペンサ



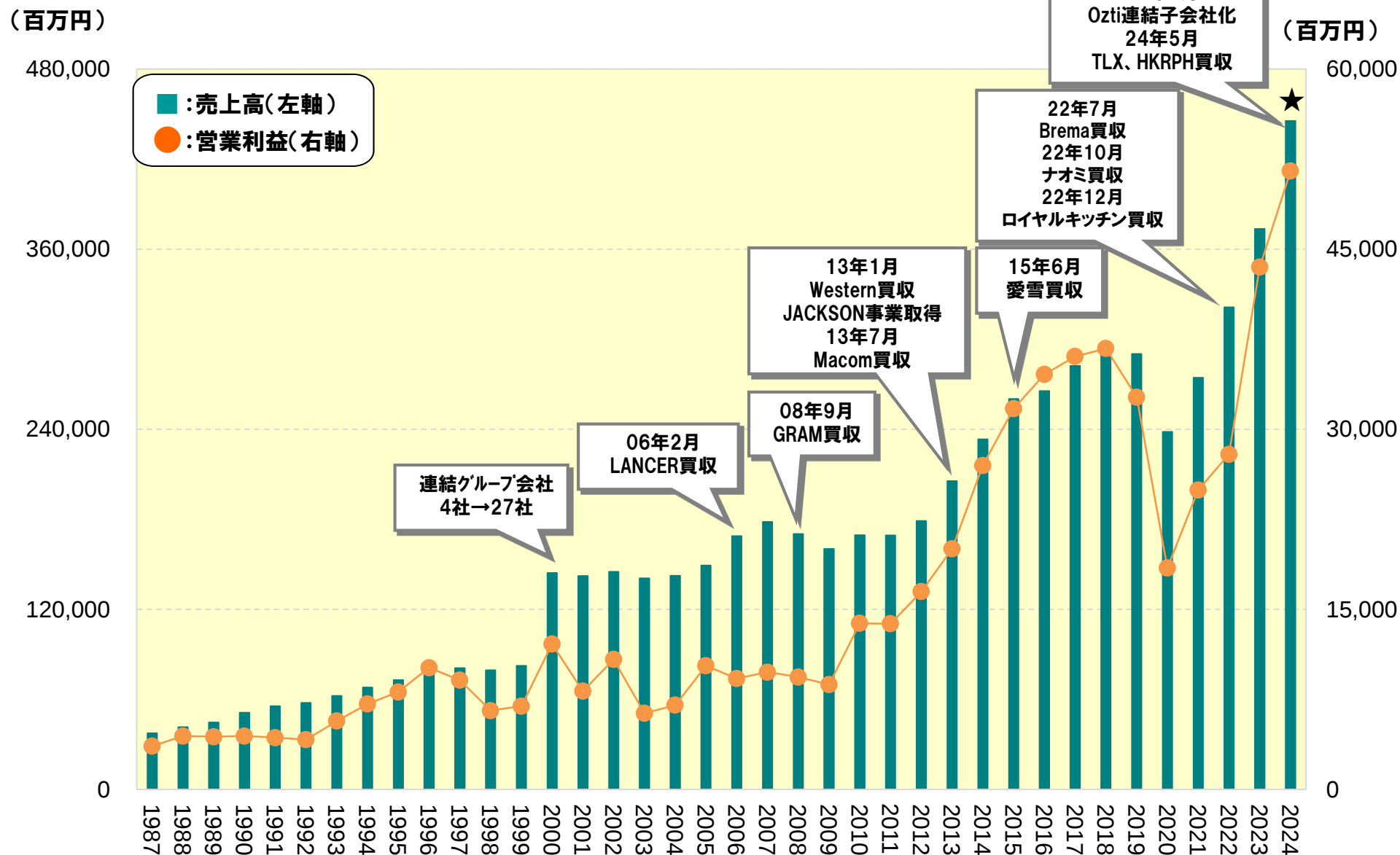
生ビールディスペンサ



コールドウォーター
ディスペンサ



長期業績推移(連結)



★過去最高収益を示す。

本資料における注意事項等

- 本資料にはホシザキ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び弊社IRに関するお問い合わせ先】

ホシザキ株式会社 経営企画部

TEL (0562)96-1320

URL <http://www.hoshizaki.co.jp/>